

# 防災科研ニュース

## 特集

- ・木造建物実験
- ・実大6層鉄筋コンクリート建物実験
- ・地盤基礎実験

- ・防災研究フォーラム第6回シンポジウム～能登半島地震と新潟県中越沖地震から学ぶ～
- ・しずおか防災科学技術展2008～あしたのために、いま学ぶ～

## 行事開催報告

- ・第7回国土セイフティネットシンポジウム
- ・第2回シンポジウム「統合化地下構造データベースの構築～データベースの連携で築く公共の地盤情報～」

## 受賞報告

- ・小原地震研究部副部長が井上學術賞を受賞
- ・堀内研究参事が「ナイスステップな研究者2007」に



## 特集

## Eーディフェンスによる地震防災への貢献

当所では、2004年10月1日に兵庫県三木市に兵庫耐震工学研究センターを開設し、阪神・淡路大震災から10周年となる2005年1月に世界最大の実大三次元震動破壊実験施設（愛称：Eーディフェンス）の披露式を行いました。その後、同施設の性能検証試験を経て、2005年4月から多種多様な実規模構造物の震動破壊実験に取り組んできました。

2005～2006年度には、文部科学省からの委託研究「大都市大震災軽減化特別プロジェクト」（通称：大大特）のテーマⅡ「震動台活用による構造物の耐震性向上研究」の中で、「木造建物」「鉄筋コンクリート（RC）建物」「地盤・基礎構造」に関する実験を実施しました。2007年度からは、日米共同研究として「鉄骨造建物」「橋梁構造」、兵庫県との共同研究として「高層建物」、日伊共同研究として「7階建て木造壁式建物」の実験を実施しました。この他にも、センター開設以来、原子力関係を含む数件の受託実験を実施し、全ての実験を成功裏に終了させ

ています。Eーディフェンスによる震動破壊実験は、日本はもとより世界の耐震工学研究を牽引するものであり、世界的な耐震工学研究のコア機関を目指して活動を続けています。また、センター開設以来の総見学者数は約30,000名にのぼり、多くの人々に耐震技術についてご理解いただく場を提供しています。

今回の特集では、大大特における実験研究の成果に焦点を当てて、当所が地震防災にどのように貢献しようとしているか、その一端をご紹介します（詳細は、大大特「総括成果報告書」<http://www.bosai.go.jp/library/gaibu/ddt-all/index.html>をご覧ください）。なお、本年4月に、「Eーディフェンスの建設技術と実大震動実験」に対して、日経BP技術賞（建設部門）が授与されました。この受賞を励みにして、地震防災への貢献をめざし、さらに耐震実験研究に取り組んで参りますので、関係各位のご支援・ご協力をお願いいたします。